

学校だより

NO.13 - 2 令和6年1月24日(水)

鈴鹿市立白子小学校

「学校教育活動に関するアンケート結果」の主な特徴等について

学校だより「13号-1」により報告させていただきました「アンケート結果」の主な特徴等について、説明いたします。

児童アンケートでは、肯定的回答（「そう思う」「どちらかというと思う」）の回答。以下同じ）が、10項目のうち7項目で80%以上となりました。多くの子どもたちが、周りの友達との関係を大切にしながら、自分を見つめ、振り返り、自分を高めようとチャレンジしていること等がわかりました。特に割合が高かったのは、「②学校に仲良しの友達がいいますか（96%）」「⑦先生はあなたの話をよく聞いてくれますか（93%）」「④授業はわかりやすいですか（92%）」の項目でした。また、「前よりできるようになったこと」の問いに対して、「自分から進んで勉強できるようになった」「自分の意見を言えるようになった」等、自分として成長を実感している記述がたくさんありました。こうした結果を励みにして、引き続き「友達との関わりを深める活動の充実」「傾聴と共感を大切に児童との対話」「わかりやすい授業の創造」に取り組んでまいります。



保護者アンケートにおきましては、肯定的回答が11項目中7項目で80%を超え、割合が高かったものとして、「①お子さんは、元気よく学校に行っていますか(94%)」「②お子さんの友人関係は良好ですか(92%)」がありました。また、「お子さんのどんなところが成長したと思われますか」の問いに対して、「自分のことは自分でできるようになった」「お手伝いをしっかりしてくれるようになった」等、お子様の成長を実感されている記述がたくさん見られました。引き続き、保護者の皆様からの信頼を高められるように、また子どもたちからの期待に応えられるように、各種教育活動の充実に取り組んでまいります。

一方、肯定的回答の割合が比較的低く、改善に取り組む必要があることとして、「読書への興味関心を高めること」「家庭学習に意欲的に取り組めること」があります。「本を読んでもおもしろかった、なるほどと思った、もっと読みたい」「家庭学習をして、よりできるようになった、学校での学習の役に立った」等の気持ちが高まることをめざして、子どもたちの良さががんばり、成長を認める声かけを行ったり環境を整えたりして、様々な活動への意欲を高めていくとともに、保護者の皆様との一層の連携に努め、学校での学習と家庭での学習の両輪で確かな学力を培っていただけるよう取り組んでまいります。

加えて、保護者の皆様からの学校教育活動を向上させるためのご意見として、「どの子ども安心して学べる環境づくり」「少人数教育の充実」「学校トイレの改善」「アンケートの活用や学校からの情報発信による学校と家庭の一層の連携」等をいただきました。このようなご意見をしっかり受け止め、引き続き、教育活動の充実に取り組んでまいります。ご多用の中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

加えて、保護者の皆様からの学校教育活動を向上させるためのご意見として、「どの子ども安心して学べる環境づくり」「少人数教育の充実」「学校トイレの改善」「アンケートの活用や学校からの情報発信による学校と家庭の一層の連携」等をいただきました。このようなご意見をしっかり受け止め、引き続き、教育活動の充実に取り組んでまいります。ご多用の中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。